ジェンダー視点が拓く学術の未来と社会の公正・イノベーションの好循環

NPO法人ウッドデッキ 代表理事

渡辺美代子

2026年8月1日
学術フォーラム「社会と学術界におけるジェンダー平等・公正 – 男女共同参画基本計画の実装とジェンダー主流化」

提 言

社会と学術界におけるジェンダー平等・公正の実現を目指して

－2030年に向けた課題－

提言 5 日本の学術を一層振興させるために、あらゆる学術分野にジェンダー視点を浸透させるとともに、学術の振興を通して社会のジェンダー平等・公正を実現するべきである。

① 学術研究に多様なジェンダー視点を確保し、**② 急速に発展するデジタル社会を公平で豊かなものとする**ことが重要である。また、**性差医療やジェンダード・イノベーションを発展させる**ことは、学術の振興のために不可欠である。他方で、公平・公正な学術振興により、**社会のジェンダー平等・公正が進展する**こともまた期待できる。

国際的にも承認されたこの考え方を実現させるため、**③ 各種の大型研究プロジェクトや科学研究費補助金等の審査基準に、ジェンダー的指標を取り入れる**べきである。

女性参画を推進する二つの根拠

提言 5

	権利・公正の観点	多様性・価値創造の観点
目的	公正な社会の実現	よりよい意思決定・価値創造
中心的対象	個人	組織・社会
女性参画の意味	女性の正当な参画そのものを重視	新たな経験・視点の導入が価値
具体的な問題事例	女性だから管理職になれない 男性だから育休を取りにくい 外国人だから採用されにくい	男性だけで意思決定をする 研究課題が偏り、社会のニーズを見落とす 性別役割分担を前提に働き方が固定化
女性増加で目的達成か	前進・達成	必ずしも達成しない
重要な評価軸	公平性・人権・機会均等	多様性・意思決定の質

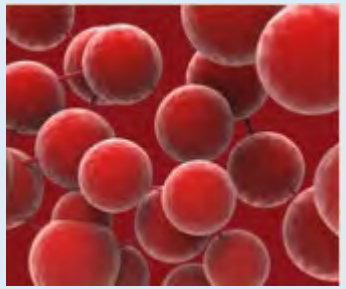
① 学術研究に多様なジェンダー視点を確保

性差医療やジェンダード・イノベーションを発展させる

ジェンダーに関わる15の事例研究

処方薬
Prescription Drugs

システムバイオロジー
Systems Biology



慢性の痛み
Chronic Pain

海洋科学
Marine Science

スマートエネルギー
Smart Energy Solution

農業
Agriculture

スマートモビリティ
Smart Mobility

廃棄物管理
Waste Management

上質な都市空間
Urban Spaces

拡張仮想現実
Extended Virtual Reality

顔認証
Facial Recognition

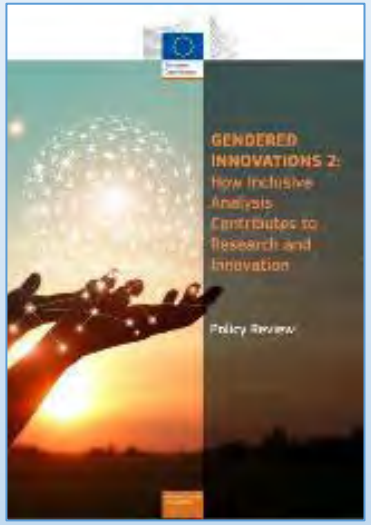
仮想アシスタント
Virtual assistants

公正な税
Fair Tax

ベンチャー投資
Venture Funding

新型コロナウイルス
COVID-19 pandemic
(Ad hoc case study)

Publications Office of the European Union 2020
Gendered Innovations 2



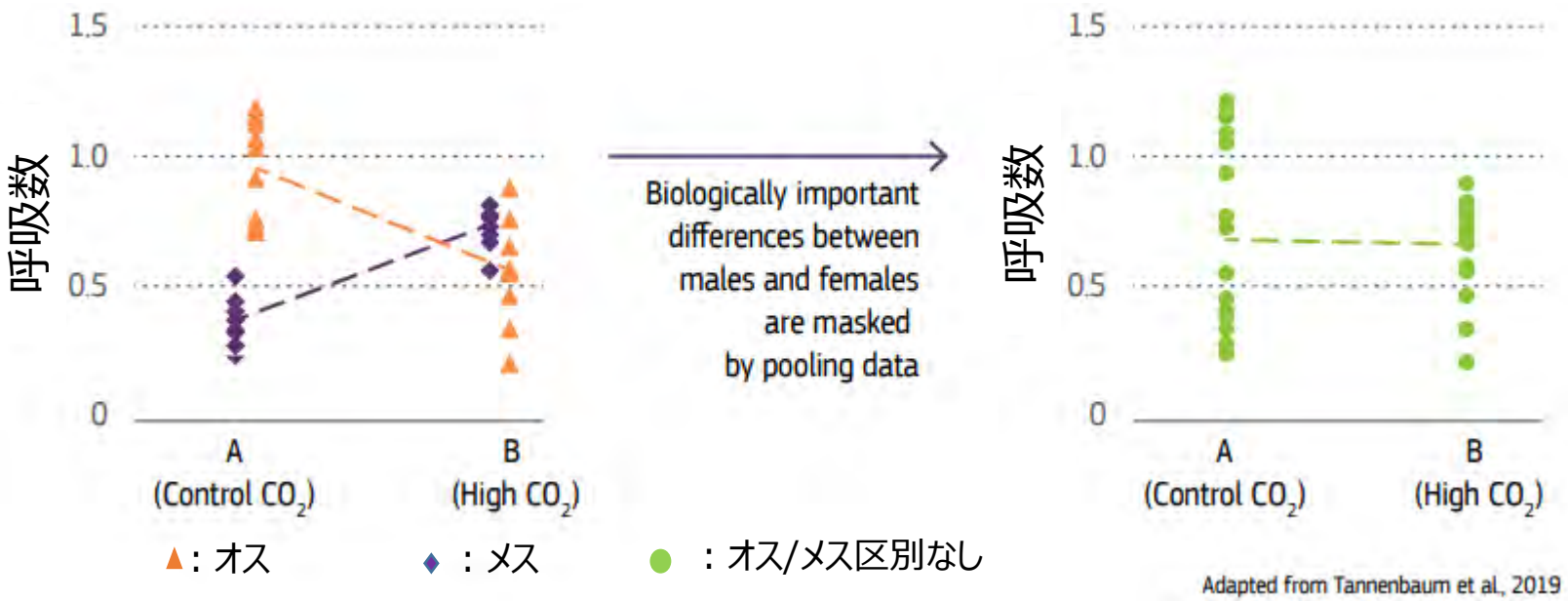
人文社会科学 2

生命科学 6

理学 1 工学 7

https://data.europa.eu/doi/10.2777/316197

海洋科学　Marine Science



1. 温暖化する海での海洋生物の雌性化を理解
   ウミガメなど性別が温度で決まる動物にとって、気候変動がもたらす脅威を解明することは、将来の絶滅リスク評価に不可欠。
2. 温度を超えた環境の性決定を理解
   将来の気候変動シナリオの下では、この理解が人間にとっても経済、生態学、さまざまな生物の生息数統計学に不可欠。
3. 性別分析を活用した効果的な生息管理
   この管理により、天然資源の継続的な持続可能な開発が可能になる。
4. 気候変動に対する海洋生物の雄と雌の感度の違いを理解
   この理解は、環境変化が個体群と生態系に与える影響を完全に文書化して残すために必要。

処方薬　Prescription Drugs

医薬品製造における男女差

IN WOMEN	生理学的差異	IN MEN
	体組成	
ほとんどの薬剤の代謝速度低下 ↑	脂肪量	↓ ほとんどの薬剤のより速い代謝
↓	除脂肪量	↑
親油性薬剤の蓄積増加 ↑	遊離水	↓ 親油性薬剤の蓄積減少
親水性薬剤の濃度変動（月経周期全体を通じても）		親水性薬剤の異なる血中濃度
安静時心拍数の上昇 ↑	心拍変動	↓ 安静時心拍数の低下
QT間隔の延長 不整脈リスクの増加		QT間隔の短縮 不整脈リスクの低下
薬剤吸収の遅延 ↓	胃運動	↑ 薬剤吸収速度向上
シトクロムP450の発現差異（例：CYP3A4女性でより多く発現） ↓	胃酸度	↓ シトクロムp450（CYP）の発現差異（例：CYP2D6とCYP2E1は男性でより多く発現）
エストロゲンとプロゲステロンはCYP450による分解において薬剤と競合する	肝酵素	
薬剤の排泄が遅くなる ↓	腎排泄	↑ 薬物の排泄速度向上
薬剤の除去が遅くなる ↓	結腸運動	↑ 薬物の除去速度向上

・歴史的に、医薬品開発は「万能型」モデルに従ってきた。

・薬物試験は主に男性を対象に行われてきた。その結果、女性は男性よりも多くの望ましくない副作用、時には致命的な副作用を報告している。

・1990年代後半には、10種類の薬剤が米国市場から回収された。このうち8種類は、女性に対してより大きな健康リスクを示した。

人種（肌の色）で感度が変化

パルスオキシメーターの人種別測定精度は
白人＞ヒスパニック＞ 黒人＞ アジア

ソープディスペンサーは人種差別主義者！

https://www.mic.com/articles/124899/the-reason-this-racist-soap-dispenser-doesn-t-work-on-black-skin
https://metro.co.uk/2021/01/22/20-pulse-oximeter-gadget-could-save-lives-from-covid-19-13948612/
https://jamanetwork.com/journals/jamainternalmedicine/fullarticle/2792653
https://www.youtube.com/watch?v=eUaJ9Q7OM3I より

日本の特許の価値

男女混合チームが高い成果を上げている

男女チームの価値／男性のみチームの価値＝ 1.54

対象特許：
過去25年の製造業企業400社、約100万件

餅友佳里（日本政策投資銀行）
「女性の活躍は企業パフォーマンスを向上させる
～特許からみたダイバーシティの経済価値への貢献度」より

② 急速に発展するデジタル社会を公平で豊かなものとする

機械翻訳の問題

日本語：渡辺さんは学術会議で講演しました。

↓ deepl

英語：**Mr. Watanabe** gave a lecture at the Science Council of Japan.

（2026年７月）

日本語：渡辺さんは女性です。

↓ Google 翻訳

英語：**Mr. Watanabe** is a woman.（2021年8月）

Ms. Watanabe is a woman. (2023年11月)

なぜこのような翻訳がされるのか？
おかしいと主張することで変わる

顔認証

商用システムでの判定正解率 (2018,2019年)

Gender Shades 2018

	黒人男性	黒人女性	白人男性	白人女性	最大の差
IBM	88.0%	65.3%	99.7%	92.9%	34.4%
Face++	99.3%	65.5%	99.2%	94.0%	33.8%
Microsoft	94.0%	79.2%	100.0%	98.3%	20.8%

Actionable Auditing 2019

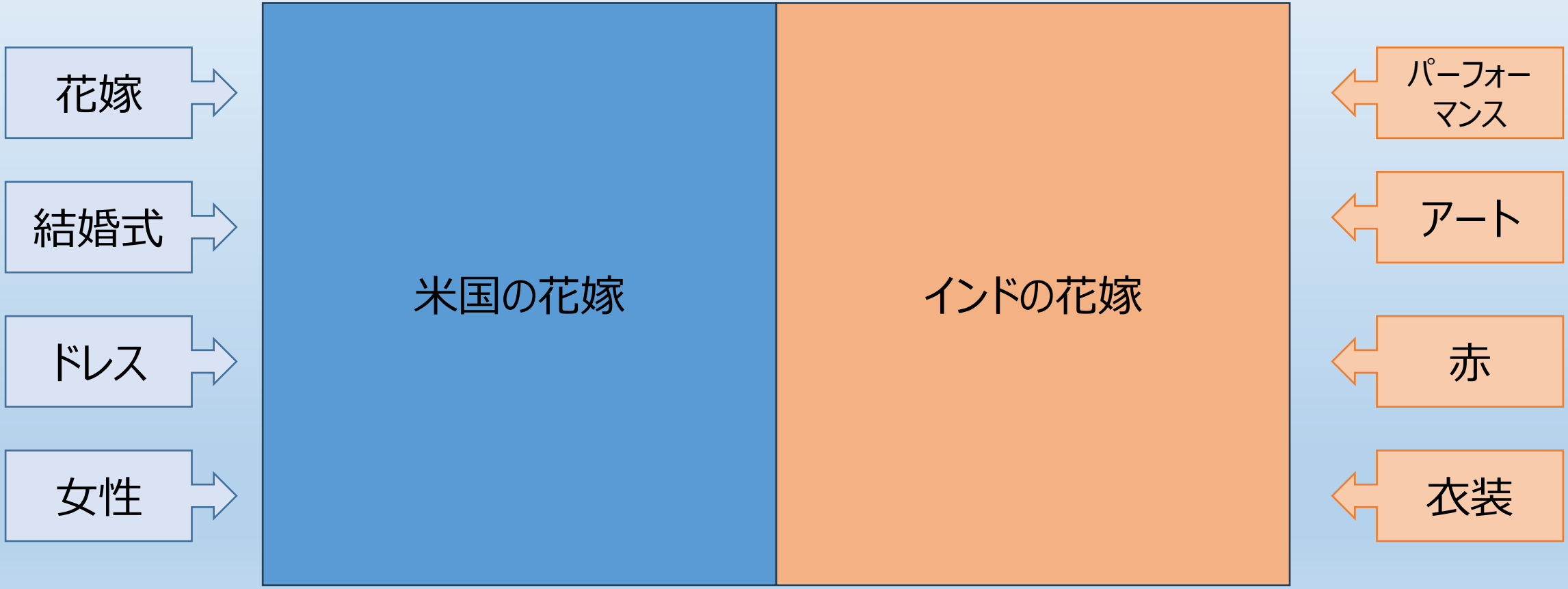
	黒人男性	黒人女性	白人男性	白人女性	最大の差
Amazon	98.7%	68.6%	100.0%	92.9%	31.4%
Kairos	98.7%	77.5%	100.0%	93.6%	22.5%
IBM	99.4%	83.0%	99.7%	97.6%	16.7%
Face++	98.7%	95.9%	99.5%	99.0%	3.6%
Microsoft	99.7%	98.5%	100.0%	99.7%	1.5%

Sources: Data from Buolamwini and Gebru (2018) and Raji and Buolamwini (2019)

https://data.europa.eu/doi/10.2777/316197

画像からラベリング

もとになる画像の45%が米国製　米国の人口は世界の **4%**



Londa Shiebinger,学術フォーラム「性差研究に基づく科学技術・イノベーション」講演資料より

③ 各種の大型研究プロジェクトや科学研究費
補助金等の審査基準に、ジェンダー的指標を取り入れる

性差に基づく科学技術イノベーションに関する世界の動き
EUの科学技術イノベーションに関する動き

欧州委員会（欧州連合の政策執行機関）

役割：EUの戦略と優先順位の設定、EU政策の実施等
日常の欧州連合の運営を担当

委員：27名（男性16名、女性11名）

Von der Leyen, President

Executive Vice-Presidents
& High Representative
(男性2名, 女性4名)

2014 Horizon 2020 (2014-2020)
研究にジェンダーバランス考慮とジェンダー分析組込みを**推奨**

2021 Horizon Europe (2021-2027)
ジェンダーバランスとジェンダー分析の提案書記載を**義務化・評価対象とすることが決定**

Mariya Gabriel(当時)
Commissioner for Innovation, Research, Culture, Education and Youth

https://research-and-innovation.ec.europa.eu/knowledge-publications-tools-and-data/publications/all-publications/gendered-innovation-2-how-inclusive-analysis-contributes-research-and-innovation_en

JSTファンディングの募集要項

CREST・さきがけ・ACT-X・創発

第 1 章 研究提案公募にあたって

1.2.2 ダイバーシティの推進について

JST はダイバーシティを推進しています！

科学技術イノベーションをもたらす土壌には「ダイバーシティ（多様性）」が必要です。年齢、性別、国籍を問わず、多様な専門性、価値観等を有する人材が参画し、アイデアを出し合い、共創、共働してこそ新しい世界を拓くことができます。JST は、あらゆる科学技術においてダイバーシティを推進することにより未来社会の課題に取り組み、我が国の競争力強化と心の豊かさの向上に貢献していきます。国連の持続可能な開発目標（SDGs）においてもジェンダー平等をはじめダイバーシティとも深く関わりのある目標が掲げられており、国内のみならず世界共通の課題解決にも貢献していきます。

現在、女性の活躍が「日本最大の潜在力」として成長戦略の中核に位置づけられています。研究開発においても、女性の参画拡大が重要であり、科学技術イノベーションを支える多様な人材として女性研究者が不可欠です。JST は女性研究者の積極的な応募に期待しています。JST では、従来より実施している「出産・子育て・介護支援制度」について、利用者である研究者の声に耳を傾け、研究復帰可能な環境づくりを図る等、制度の改善にも不断に取り組んでいます。

新規課題の募集と審査に際しては、多様性の観点も含めて検討します。

研究者の皆様、積極的なご応募をいただければ幸いです。

国立研究開発法人科学技術振興機構　　理事長

創発

第 4 章　応募に際しての注意事項

4.15 男女共同参画及び人材育成、ならびに性等を考慮した研究の促進について

「第 5 次男女共同参画基本計画（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）」、「Society5.0 の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ（令和 4 年 6 月 2 日総合科学技術・イノベーション会議決定）」等において、出産・育児・介護等のライフイベントが生じても男女双方の研究活動を継続しやすい研究環境の整備や、優秀な女性研究者のプロジェクト責任者への登用の促進等を図ることとしています。さらに、保護者や教員等も含め、女子中高生に理工系の魅力を伝える取組を通し、理工系を中心とした修士・博士課程に進学する女性の割合を増加させることで、自然科学系の博士後期課程への女性の進学率が低い状況を打破し、我が国における潜在的な知の担い手を増やしていくこととしています。

これらを踏まえ、本事業においても女性研究者の活躍促進や将来、科学技術を担う人材の裾野の拡大に向けた取組等に配慮していくこととします。

- 理数系の博士号取得者等によるオンラインでの小・中・高等学校における理科、物理・化学等の授業や出前講座に係る費用を直接経費から支出可能とします。
- 研究成果を中高生等が理解しやすいコンテンツとして SNS 等で配信するための費用を直接経費から支出可能とします。
- 上記 2 点のアウトリーチ活動の実績について研究成果報告書への記載を可能とし、プラス評価の対象とします。また、研究計画書への記載も可能とし、審査の際にプラス評価の対象とします。

また、生物学的性（セックス）や社会的・文化的性（ジェンダー）等を適切に考慮した研究・技術開発を実施していくことが求められています。

・性等を考慮しないまま研究開発を実施することで、その成果を社会実装する段階で社会に不適切な影響が及ぶ恐れもあります。従って、研究開発における関わりを検討し、必要に応じて性等を考慮して実施してください。

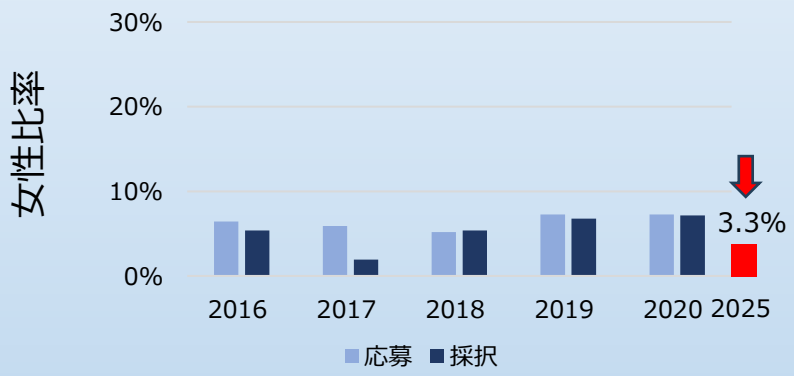
JSTファンディングへの応募と採択の女性比率推移

伝統的事業での変化は困難、新しい事業に期待

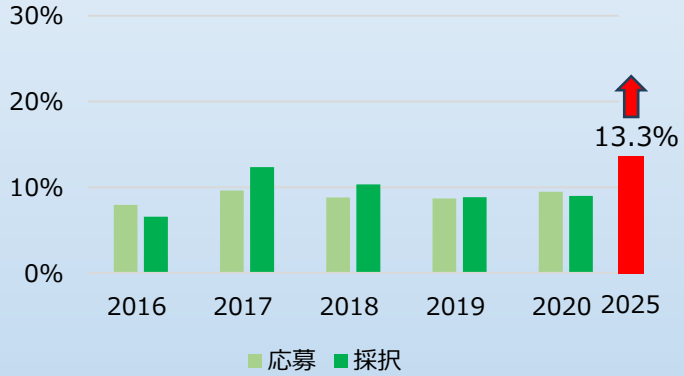
2025年度採択

年齢制限を設けていない従来事業・・・応募、採択ともに概ね女性比率が10%に満たない

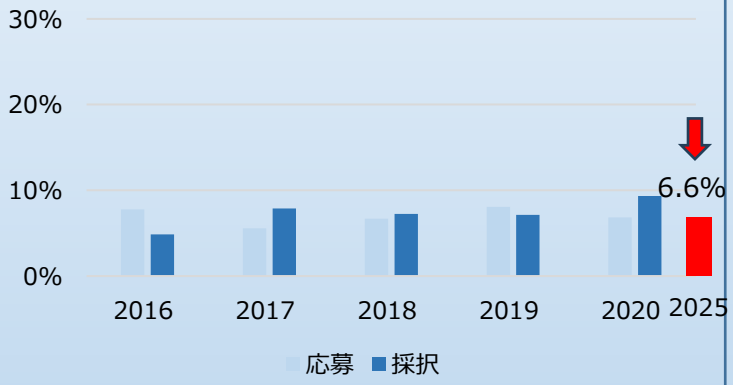
CREST（1995年度から）



さきがけ（1991年度から）

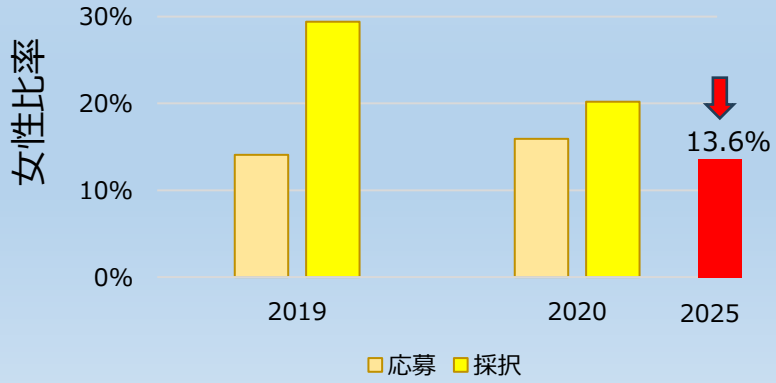


A-STEP合計（2009年度に再編）

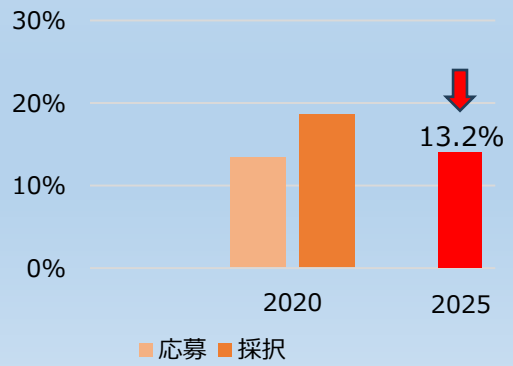


若手を対象とした新事業(2019年度以降開始)・・・応募、採択ともに女性比率が10%を越える

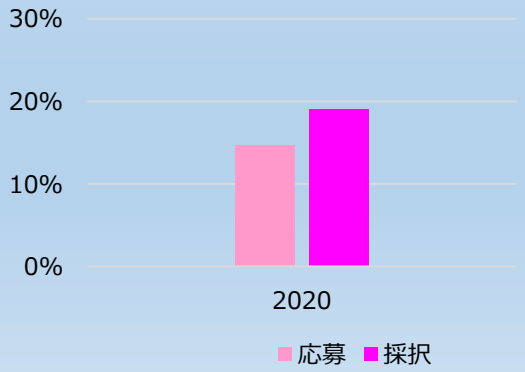
ACT-X



創発



ムーンショット（ミレニア）



https://www.jst.go.jp/diversity/pdf/adviser_2020.pdf

OECDデータに見る日本のICT女子学生比率

OECD Data Explorer, Share of graduates by field of education and gender

ICT分野女性比率

Field of education		Social sciences, journalism and information								Business, administration and law								Natural sciences, mathematics and statistics								Information and Communication Technologies (ICTs) (broad field level)								Engineering, manufacturing and construction							
Time period	2022	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Reference area																																									
Sex: Female																																									
Australia	64.78	66.44	66.54	66.94	66.45	67.51	67.59	67.83	69.39	53.07	52.50	52.77	52.37	52.62	52.39	52.43	52.16	..	..	..	..	..	..	..	..	19.15	21.04	21.75	23.30	24.67	27.05	27.63	26.49	22.87	22.42	23.23	24.19	23.95	25.08	25.59	25.15
Austria	67.40	64.47	64.26	63.35	67.78	69.69	68.94	68.36	69.18	57.30	57.02	57.65	57.27	56.40	55.85	56.72	56.41	48.42	49.59	48.29	47.29	49.80	48.45	49.42	50.42	13.65	14.30	14.32	15.37	16.19	15.70	17.37	17.05	21.12	21.54	22.38	22.61	22.99	22.63	24.27	24.14
Belgium	..	o ..	70.31	70.34	68.42	68.89	72.32	72.58	72.90	..	..	..	..	..	..	..	..	o ..	44.66	41.40	41.25	41.94	42.02	44.02	44.56	o ..	5.63	9.88	11.78	12.19	13.93	12.80	13.58	..	..	..	..	..	..	..	..
Canada	62.73	..	..	..	..	..	..	..	..	55.53	55.83	55.87	55.53	52.94	52.55	53.87	54.68	53.46	53.76	54.56	54.38	55.98	55.82	57.15	58.22	..	..	..	..	..	..	..	..	19.01	19.67	19.46	19.18	22.28	21.91	23.13	24.41
Chile	55.34	66.85	66.77	66.69	66.03	66.81	65.76	64.77	65.56	54.89	56.47	56.33	57.09	57.21	57.12	57.50	57.25	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..
Colombia	53.10	67.81	69.38	69.59	70.63	72.74	73.20	72.18	73.74	61.93	62.97	63.24	62.69	62.30	61.35	62.26	63.12	53.57	55.99	52.66	54.17	57.56	56.81	58.51	59.64	27.91	26.98	25.06	23.31	23.06	23.16	22.98	24.01	33.13	34.26	35.14	34.60	34.20	35.95	35.74	35.42
Costa Rica	62.15	69.16	69.59	68.97	69.67	70.47	68.69	68.36	66.08	61.55	60.88	62.64	63.51	63.36	63.98	63.26	61.43	45.63	53.77	51.72	58.61	56.49	55.24	56.49	56.25	21.49	23.30	36.30	20.92	21.24	22.96	22.29	23.53	38.94	35.24	39.71	37.09	37.81	38.22	37.96	37.34
Czechia	69.55	69.15	67.70	68.64	67.81	68.03	67.45	65.95	66.82	..	..	..	..	..	..	..	..	59.55	59.00	59.87	61.10	60.33	61.52	60.93	62.31	13.49	15.27	15.57	15.94	17.67	17.80	18.63	17.38	32.00	32.67	33.65	33.75	34.42	33.56	33.43	31.36
Denmark	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	49.08	53.70	54.36	53.44	54.96	53.24	54.53	54.23	19.75	21.29	24.00	23.02	24.06	23.69	26.02	24.71	..	..	..	..	..	..	..	..
Estonia	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	64.11	61.00	63.86	61.08	63.32	65.41	65.11	64.49	29.84	27.04	28.89	29.64	37.05	35.51	31.18	33.65	..	..	..	..	..	..	..	..
Finland	73.45	70.86	71.15	71.31	72.05	72.51	71.71	75.39	76.11	61.54	61.56	61.01	60.38	59.70	58.91	60.01	60.64	..	..	..	..	..	..	..	..	19.32	20.64	20.75	21.38	21.95	24.63	25.32	26.43	22.32	22.26	22.16	22.34	22.10	23.01	24.96	27.25
France	68.05	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	47.43	49.02	50.09	50.36	50.33	50.69	51.75	68.50	..	..	..	..	..	..	..	..	26.18	26.11	25.74	23.90	23.57	23.26	23.56	25.88
Germany	70.66	64.40	65.46	65.70	66.27	66.99	67.84	68.50	68.38	53.54	54.40	53.05	53.06	54.09	53.59	54.32	54.50	46.70	46.95	46.76	46.92	47.98	48.71	49.73	50.37	17.64	18.14	19.41	19.72	20.63	21.41	22.03	21.93	19.97	20.49	21.12	21.83	19.46	20.43	21.13	21.25
Greece	71.02	63.20	63.19	63.75	64.78	65.86	65.18	64.96	68.59	58.26	59.66	58.56	59.90	60.13	59.33	60.11	58.74	51.98	52.59	52.37	52.87	54.00	51.83	53.13	52.67	39.72	38.76	35.69	39.19	35.81	34.28	34.78	34.74	31.50	33.52	33.87	33.79	34.92	36.30	34.54	35.44
Hungary	68.78	69.61	69.32	68.59	69.19	66.70	68.24	67.82	70.33	65.41	66.68	65.24	65.67	64.49	68.24	62.66	62.44	..	..	..	..	..	..	..	..	23.33	18.82	16.70	16.78	16.57	17.15	17.18	17.24	27.17	29.25	29.85	30.06	28.50	25.71	28.29	29.06
Iceland	..	74.96	74.29	76.09	76.65	74.37	74.51	73.09	73.39	..	..	..	..	..	..	..	..	53.14	54.59	48.39	52.29	53.33	54.19	57.39	57.53	21.47	16.95	26.59	24.77	28.34	26.36	30.80	26.03	..	..	..	..	..	..	..	..
Ireland	62.57	..	..	..	..	..	..	..	..	49.32	49.52	50.43	50.94	50.41	50.92	52.13	52.77	..	..	..	..	..	..	..	..	20.28	20.85	22.75	26.15	25.34	27.32	28.51	32.46	..	..	..	..	..	..	..	..
Israel	62.45	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	65.80	66.28	66.22	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	56.91	58.99	60.56	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	52.86	53.23	53.21	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	35.86	35.75	38.08	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	26.16	26.83	27.11
Italy	70.69	o ..	71.43	70.63	63.06	63.44	63.82	63.25	64.23	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	o ..	16.12	15.07	20.92	19.00	17.90	18.56	19.92	o ..	31.91	31.68	31.61	31.03	30.94	30.84	30.56
Japan	67.10	..	..	..	..	..	..	..	..	36.08	36.20	36.66	37.13	37.58	38.01	37.99	38.25	25.85	26.09	25.84	26.32	26.52	27.12	27.09	27.66	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	o ..	13.18	13.74	14.01	14.50	14.98	15.50	15.91	16.39
Korea	..	59.36	59.97	60.17	60.15	60.39	60.83	61.30	62.96	47.25	48.11	49.03	48.92	49.73	50.41	50.90	51.41	49.59	48.33	49.20	47.91	47.09	47.36	48.71	49.50	23.69	24.66	24.32	24.51	24.41	25.10	27.28	28.94	18.89	19.54	20.05	19.96	20.21	20.52	21.62	22.58
Latvia	..	78.40	77.51	75.04	78.60	75.57	75.91	75.74	77.79	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	20.61	23.68	22.68	25.52	25.85	23.40	22.60	22.50	27.34	26.66	26.60	26.25	25.17	26.85	27.54	30.16
Lithuania	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	57.58	59.97	57.75	61.05	61.55	61.53	61.13	61.94	13.80	11.65	16.84	16.87	17.05	17.76	13.73	19.06	..	..	..	..	..	..	..	..
Luxembourg	..	..	..	..	..	..	..	..	..	52.74	50.15	51.31	53.56	53.57	51.92	52.28	51.22	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..	15.29	19.82	19.40	15.08	21.05	26.53	27.69	23.64
Mexico	58.25	69.72	70.01	70.40	70.73	60.76	60.97	61.72	72.14	55.92	55.40	55.14	55.88	57.78	58.32	58.86	57.63	52.58	52.49	51.14	52.01	52.76	51.52	52.68	52.26	35.46	32.18	28.44	27.98	27.26	27.24	27.57	27.18	28.31	28.39	28.47	28.73	29.42	30.53	31.46	32.48
Netherlands	62.21	68.96	68.67	68.17	68.21	68.23	68.34	69.25	70.30	46.65	46.85	47.34	47.80	48.16	48.74	48.73	49.29	43.72	44.00	43.75	44.63	44.36	45.82	46.38	50.85	12.52	12.61	14.47	15.64	15.32	16.31	19.19	19.49	21.57	22.51	23.06	25.08	25.27	25.75	25.97	28.46
New Zealand	62.97	66.77	67.82	68.28	67.01	68.95	68.24	69.64	68.84	50.74	51.91	54.12	56.30	57.36	53.81	57.01	58.22	53.63	56.16	55.67	55.80	57.87	58.47	59.74	60.04	22.51	24.38	23.11	24.51	26.37	26.47	26.09	32.91	27.72	28.86	28.63	29.34	31.56	32.04	33.12	36.53
Norway	60.49	61.49	61.12	63.08	61.37	62.15	62.41	61.22	61.11	56.14	57.56	56.90	57.80	55.08	54.13	53.93	55.38	55.45	51.70	51.48	49.88	49.00	48.25	48.89	51.31	16.36	15.97	15.16	17.53	18.56	19.52	21.77	25.57	22.00	23.10	23.89	25.27	24.40	25.17	24.66	24.61

国際比較データに記載なし

提 言
社会と学術界におけるジェンダー平等・公正の実現を目指して
－2030年に向けた課題－

提言 5 日本の学術を一層振興させるために、あらゆる学術分野にジェンダー視点を浸透させるとともに、学術の振興を通して社会のジェンダー平等・公正を実現するべきである。

① **学術研究に多様なジェンダー視点を確保**

② **急速に発展するデジタル社会を公平で豊かなものとする**

③ **各種の大型研究プロジェクトや科学研究費補助金等の審査基準に、ジェンダー的指標を取り入れる**

いずれも現時点で大きな課題

↓

すべての人を包含した学術を進めることが、
社会の公正とイノベーションを実現する好循環を生み出す